



《Undulation / 経湾 -オオヤマツミ-》

2019年 362.0×574.0cm 変形屏風
高知麻紙、顔料、染料、墨、箔、泥
撮影：草野 裕



《富嶽山 -霧雲-》

2023年 41.0×53.0cm 駿河柚野紙・墨・顔料・金泥
撮影：藤原 泰佑

「N.E.blood 21」は精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き作家の個展を開催しています。通算第86回目となる本展では、美術家・画家の金子朋樹を紹介します。

金子は1976年静岡県生まれ。2006年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻領域を修了。現在は東北芸術工科大学にて教鞭を執りつつ、個展・グループ展の作品発表のほか、展示企画、ワークショップなどの活動を行っています。

金子は故郷の静岡と、制作・仕事の現場である山形の両県に拠点を握っています。双方の自然観や信仰等を照合することで際立つ場所性、さらに双方間の反復移動を通じて顕在化する時間や空間への思索が、作品を制作する上で重要な意味を持つと金子は言います。

日本画の様式で描かれた深山幽谷の趣の中、霞の間から顔を覗かせる高層ビル群や塔、飛行物体に私たちは目を奪われるでしょう。泰然たる大自然を背景に、歴史や文明、文化、思想・信仰など多様なものが渾然一体となっている現代社会。金子はその縮図を様々な景色として私たちに提示しています。



《富嶽山界隈清養茶羅園 -転位-》

2022年 484.0×364.0cm
高知麻紙、墨、顔料、箔、金泥
撮影：吉江 淳



《富嶽山界隈茶羅園》

2021年 194.0×130.3cm
高知麻紙、墨、顔料、箔、金泥
撮影：藤原 泰佑



《大山祇園 -青龍-》

2023年 60.0×100.0cm 二曲屏風
月山和紙 大判、岩絵具、墨、箔、金泥、大和鹿皮膠

金子朋樹 (Tomoki Kaneko) 監主語

1976年 静岡県生まれ 在藤国際文化育英財団 第14期奨学生
2004年 公益財団法人 在藤国際文化育英財団 第14期奨学生
2006年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了(学位博士)
2010年 「ガロン第1回展」瑞聖寺、東京(「12ガロン第2回展 日本背景」19ガロン第3回展 metamorphosis)
2019年 「金子朋樹展 バントノミー -白紙も模様のうちなれば-」佐野美術館・さんさんギャラリー・善、静岡
2020年 「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」(「16」、「18」、「20」、「22」)
2021年 「うつろいの名姓 -それぞれの地平-」豊門会館 旧和田豊治家住宅、静岡
「第24回 岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館、東京
「第8回 東山魁夷記念日経日本画大賞」上野の森美術館、東京
2022年 パラレルモダンワークショップ「たえて日本画のなかりせば：上野恩賜公園篇」上野恩賜公園、東京
真言宗豊山派 瑠璃光山薬師寺 絵馬奉納、山形(「24」)
パラレルモダンワークショップ「都美セクショングループ展 2022 たえて日本画のなかりせば：東京都美術館篇」東京都美術館、東京
2023年 「金子朋樹展 シンクレティズム・地域、風土、フォークロア」おだわらミュージアムプロジェクト主催 ギャラリーNEW
現在 東北芸術工科大学芸術学部准教授。静岡県御殿場市、山形県山形市に在住。



リアスWEBサイト



同時開催

N.E.blood 21 vol.87

小野寺裕展

絵画/宮城県在住

<観覧無料>

リアス・アーク美術館利用案内 ●常設展①美術作品展 ②歴史民俗資料展＝舟日記一海と山を生きるリアスなくらしー ③東日本大震災の記録と津波の災害史展 【常設展観覧料】＝一般：700(600)円/大学・専門学校生：600(500)円/高校生：500(400)円/小中学生：350(250)円 ※①内は20名以上の団体料金 ●ワークショップ：日を中心に開場するアトリエ ●レストラン「キッチン・ベース」夢の倉―地元食材を中心とした創作料理をご提供。日替りランチ、シールド系(バスター・カレー・ラーメン)が人気です。

●三陸自動車道【気仙沼中央 IC】から約5km(仙台市から約115 km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25 km)
●東北自動車道【一関 IC】から約50 km ●無料駐車場あり(普通 37台・大型5台)
●東北新幹線【一関】(大船渡線)―【気仙沼】/東北新幹線【仙台】―【気仙沼線】―【気仙沼】▶気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。※「タクシー案内」と「常設展観覧券引換券」のセクター・ボン券が気仙沼駅前観光案内所、(一社)気仙沼市観光協会(TEL:0226-22-4560)で販売中。※気仙沼線【前谷地～気仙沼間、大船渡線【盛～気仙沼間】はBRT運行。